

関西大学（大学部門）の外部評価に関する懇談会

2018年8月27日（月）、千里山キャンパスにおいて、関西大学（大学部門）の外部評価に関する懇談会を開催しました。

関西大学外部評価委員会は、本学における自己点検・評価活動の客観性・公平性を担保し、教育研究水準の更なる向上を図るため、学外の有識者による評価を行い、その意見を自己点検・評価活動に反映させることを目的として設置されています。

当日ご出席いただいた外部評価委員会委員及び本学の出席者は、以下のとおりです（敬称略）。

委員長 矢野 秀利（関西大学 常務理事※）

委員 横井 和彦（同志社大学 経済学部経済学科 博士前期課程教授）

早田 幸政（中央大学 理工学部教授）

河口 浩（甲南大学 アドミッションセンター 事務部長）

本学出席者 芝井 敬司（学長）

良永 康平、前田 裕、吉田 宗弘、奥 和義、高増 明（いずれも副学長）

岡田 忠克、高作 正博、堀 潤之（いずれも学長補佐）

※2018年10月1日～専務理事



懇談に先立ち、芝井学長から開会挨拶と開会趣旨の説明がありました。

続いて、芝井学長及び矢野委員長から出席者の紹介があり、本学自己点検・評価委員会大学部門委員会の委員長である良永副学長の司会・進行のもと、懇談を行いました。

「2017年度関西大学自己点検・評価報告書」に対する委員の先生方からのご意見、ご指摘と本学執行部からの回答を踏まえて、「内部質保証」、「大学運営」、「教育」、「国際交流」、「学生の受入れ」、「学生支援」、「社会連携」、「研究活動と研究環境」、「財務」を懇談事項といたしました。各項目について、本学執行部から配付資料に基づき追加説明を行った後、双方の意見・情報交換を行いました。

主な議事内容は以下のとおりです。

1 「内部質保証」

自己点検・評価報告書の作成方法及び内部質保証の推進体制について、各大学における現状の報告及び意見交換を行いました。加えて、長期ビジョンや中期行動計画の可視化、アセスメントポリシーの作成と運用について、検討を進めている旨を報告いたしました。委員の先生方から、各大学や国外の現状を踏まえたご意見を頂戴しました。

2 「大学運営」

国内の大学間連携を一層進め、国内留学制度の充実を図るとともに、その連携を軸に、国際的な展開を進めつつあることを共有いたしました。

また、寄附行為の改正についても意見交換を行いました。

3 「教育」

本学における共通教養教育及び英語教育について報告いたしました。「考動力コンピテンシー」の設定やスマートフォンアプリを導入しての英語学習、主体性の養成に向けた課題解決型授業の展開等、本学の特長ある教育内容を紹介いたしました。

加えて、本学における教学IRの取組について報告したところ、委員の先生方からアンケートを活用した教育改善の取組をご評価いただきました。今後は、学生に対するアンケート結果のフィードバックや関連データの統合データベース化をさらに進める方針である旨を説明いたしました。

4 「国際交流」

本学の国際化戦略である TRIPLE I 構想と、留学生の受入れ、送り出しの現状について報告いたしました。

加えて、留学生に対する住環境・就職支援等受入れ環境充実事業「CARES-Osaka」や留学生就職促進プログラム「SUCCESS-Osaka」事業の整備、ICTを使用したオンライン国際交流学習「COIL」の推進について報告いたしました。

5 「学生の受入れ」

選抜方法や受験者数の推移といった現状を踏まえた上で、今後の高大接続改革や大学院改革について、意見交換を行いました。

6 「学生支援」

スポーツ庁から採択を受けた「日本版 NCAA 創設事業」と、正課外や準正課教育に対する教育プログラムの整備について報告いたしました。

7 「社会連携」

社会連携部における URA、コーディネーターによる研究支援体制について報告いたしました。

加えて、学生が中心となっていく様々な地域連携活動について、社会連携部がこれを支える母体となる旨を説明いたしました。

8 「研究活動と研究環境」

科学研究費補助金の申請・採択状況を踏まえて、URA によるデータ解析や研究者に対する申請・採択に向けた支援を進めている旨を報告し、質疑応答を行いました。

加えて、2年連続の私立大学研究ブランディング事業への採択を報告いたしました。

9 「財務」

財政基盤の強化に向けて、効率的・効果的な予算執行と研究費・寄付金の一層の獲得に努める方針を説明いたしました。教育・研究環境の質向上を軸に据えた上で、社会からの要請についての総合的な判断に基づく大学運営が必要であるという認識を共有いたしました。

以上、多岐にわたる項目について、活発な意見交換、情報交換を行いました。

委員の先生方から忌憚のないご意見を賜り、本学における自己点検・評価活動の客観性・公平性を担保し教育研究水準の更なる向上を図る上で、大変有意義な懇談の場となりました。

懇談を踏まえて、教育・研究・社会貢献活動の質的向上と自己点検・評価活動の充実に向けて、一層尽力してまいります。

以 上